



Title	センター・ニュースに関するアンケートの集計結果について
Author(s)	教育広報専門委員会
Citation	大阪大学大型計算機センターNEWS. 1973, 11, p. 79-94
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65215
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

センター・ニュースに関するアンケート の集計結果について

教育広報専門委員会

1. まえがき

去る6月施行しましたセンター・ニュースに関するアンケート調査では、利用者から、いろいろ貴重なご意見を頂くことができました。あつくお礼を申し上げます。これらのご意見、ご希望は、センター・ニュースの編集に反映させて行きたいと考えております。

今回のアンケート調査は、センター・ニュースの刊行回数が10号になった時点をえらび行つたものですが、今後、適当な時期を選んで定期的に行う必要があると思います。

また、今回の調査でいろいろな点が明らかになりましたが、大型計算機センターの制度開始後、数年が経過した今日、利用者層の中で経験による層化が進行してゆく傾向がとくに顕著にうかがわれます。したがって、ご希望の多様化もこれに帰因することは明らかであります。しかしながら、この多様化に対応するためのわれわれ側の態勢は、制度、能力、予算からみて、不備といわざるをえません。より一層の努力をはかりたいと考えておりますが、利用者のご協力とご理解をお願いいたします。

2. まとめ

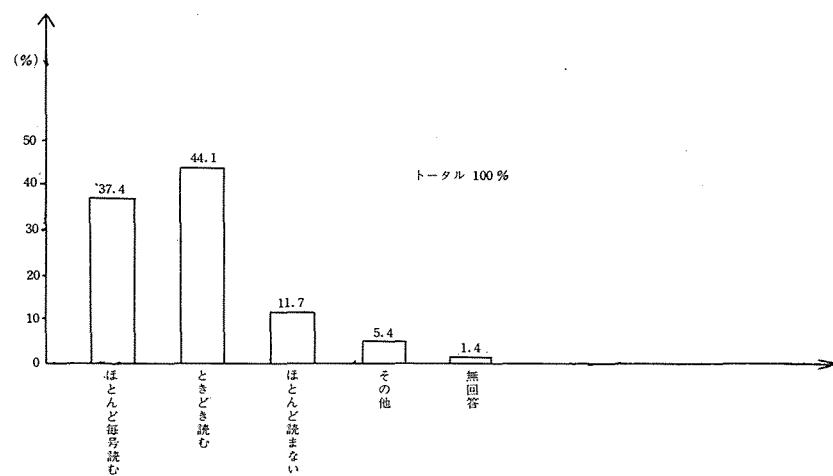
問1 読書頻度

問2 記事の関心度

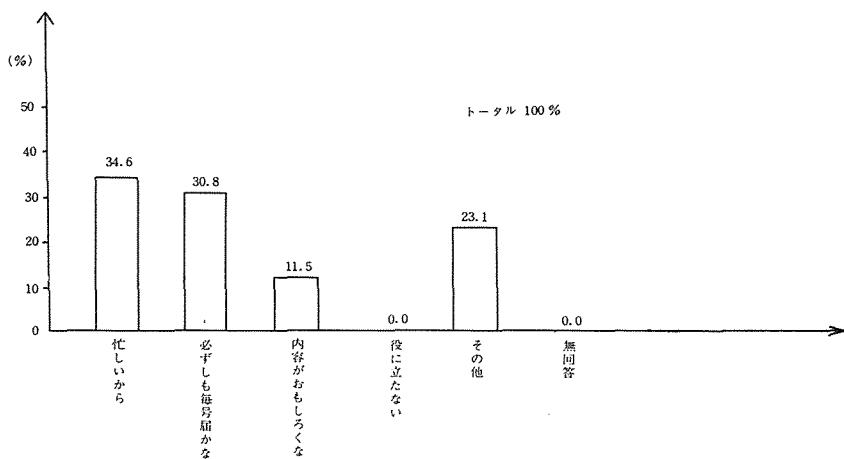
問3 企画

1. アンケートの回収率は23.4%でした。(発送数950、回答数222)
2. 回答を寄せられたユーザーのかなりの方がニュースを読んでおられるようです。
3. ニュースを読んでいないユーザーからその理由として「必ずしも毎号届かない」とか「内容がおもしろくない」といったご意見があり、今後努力すべき点を痛感しております。
4. 読まれている主な内容には1位、2位、3位ともほぼ同じ傾向のものがあります。
5. 1位、2位、3位と下るほど、読まれている内容が広く分布する傾向もみられます。

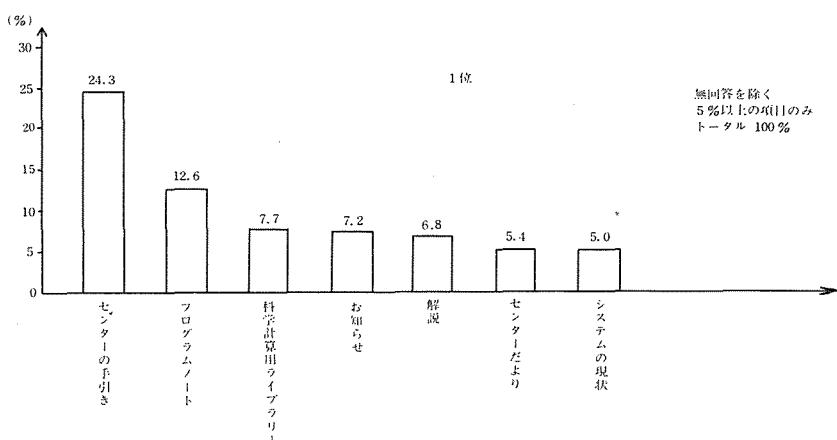
問1



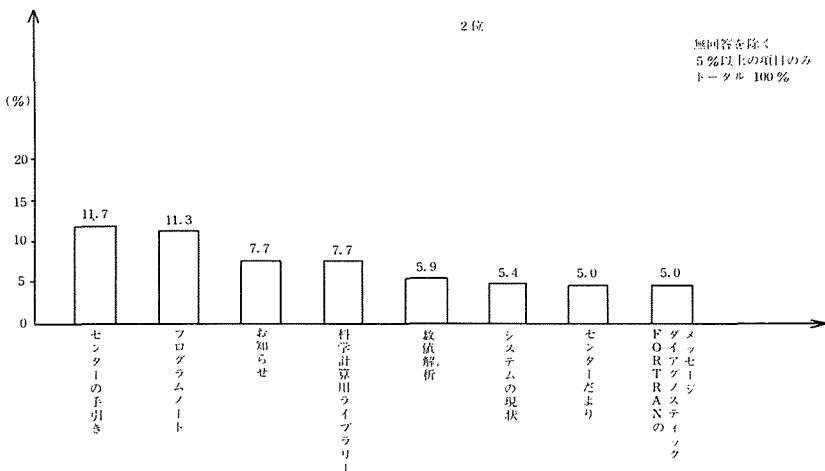
問1-1



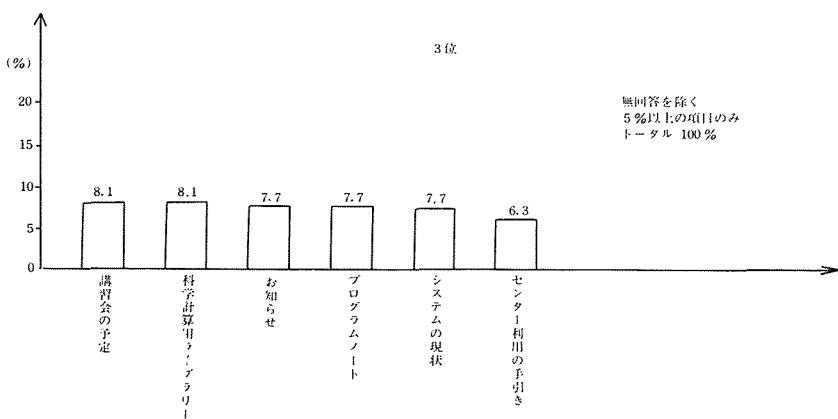
問2



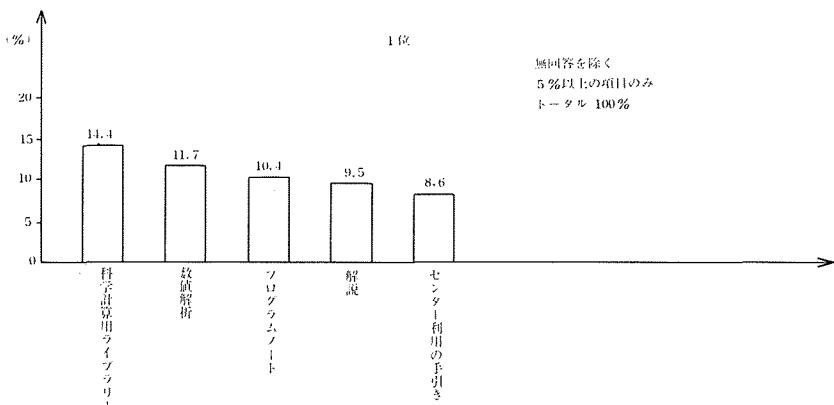
問2



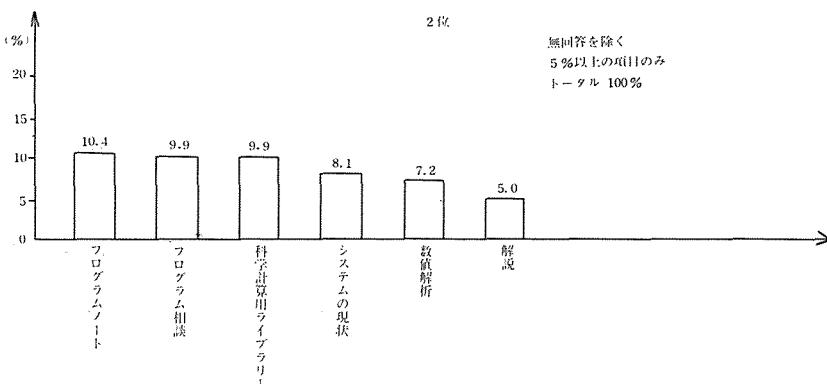
問2



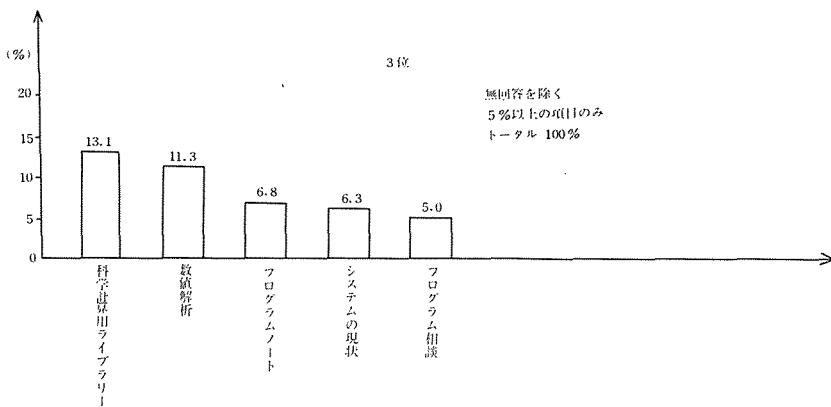
問3



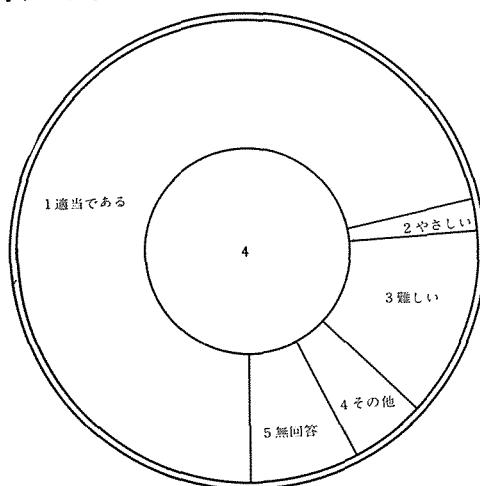
問3



3位

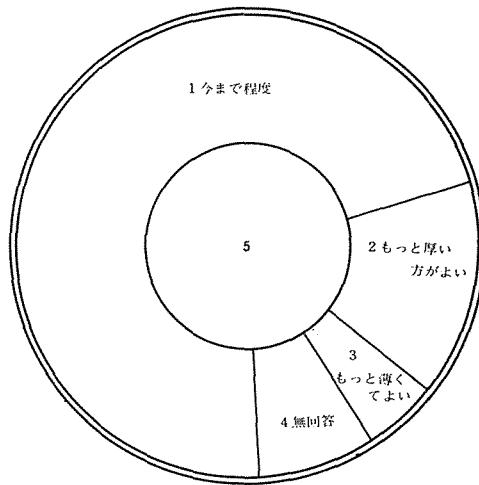


問4. 記事内容の程度



「適当である」と答えたのが72%と高く、この数字からして本センター・ニュースはかなり支持されているようですが、決して満足しているわけではございません。より充実したみなさんのセンター・ニュースにしたいと努力を続けております。

問5. ページ数

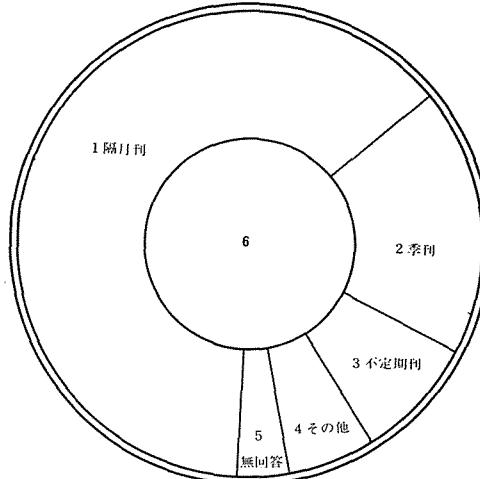


「今まで程度」が71%と高く、支持どおり、従来の60ページ前後で発行してゆく予定です。

問6. 刊行回数

「隔月刊」が過半数を占め、「季刊」が19%とこれに次いでおり、センターとしても、これに応えなければならないところですが、いろいろな制約上、今のところ「季刊」とせざるを得ませんのでご了承願います。

なお、翌年度の刊行期は各年度末号でお知らせしますが、原則として5月、8月、11月、2月を予定しております。



問7. 編集内容一般

問7は、編集一般（内容、記述方法、別冊刊行、刊行物の大きさ、活字、図表等）について、巾広い希望を募ることが目的でありました。ところが、ご希望が主として、内容に集中していることは、センター・ニュースがセンターと利用者の間の通信媒体として強い関心をもたれて

いる証拠であるといえると思います。自由形式で希望を求めるので、一つ一つを取上げることはできません。しかしグループにまとめますと、次のようにになります。

1. 索引をつける。
2. 実例を用いて、巾広く、やさしいプログラミング技法の説明をして欲しい。
3. プログラム関係には必ず実例をつけて欲しい。
4. 講習会で行われる程度の内容の解説をして欲しい。
5. 主要なテーマについて、シリーズ物を企画して欲しい。
6. 対象を電算機一般にひろげて投稿欄を設ける。
7. 手引き類の充実（ファイル関係、SSL、数値解析、TSSなどを対象にし、できれば年1回）。
8. UEP, Diagnostic Message 等をまとめて出して欲しい。
9. 難しい内容をやさしく記述して欲しい。
10. センター・ニュース刊行の目的をはっきりさせ、重点的に編集すること。
11. 失敗談などを入れ、気軽に読めるようにすること。
12. 情報処理技術の専門家から素人の利用者まで、ひろく原稿を集め、原稿を公募してはどうか。
13. 体裁についての希望

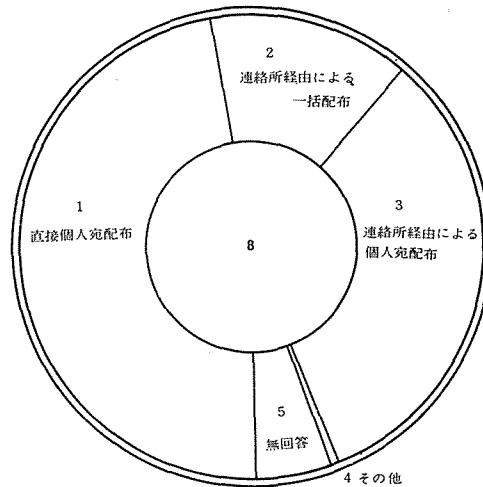
(1) 製版をきれいにする。(2) 活字を小さくして整然としたものにする。(3) 各記事の始めに巻、号番号を入れる。

(回 答)

- これらのご意見のうち、すでに実行中のものがいくつかあります（1, 3, 6, 12）。
- ご指摘の点ですでに採用しようとしている項目もいくつかあります（5, 7, 8）。
- 書物としての体裁の点は、今後、ご指摘のように改めて行きたいと思います。
- センター・ニュースは、当面、季刊の「総合雑誌」のようなものです。したがってあらゆる内容が雑然と収録されています。これはセンター・ニュースがすべての階層の利用者を対象に、巾広い問題を解説し、説明し、伝達し、また逆に利用者から意見を募ることを第一義的に考えていることからく結果であります。したがって、目的別の「専門誌」に分冊化されないかぎり、現状の性格は改められないと思います。しかしながら、少しでも「専門化」を計り、利用上の便益を提供するために刊行されているのが「手引き」であるといえましょう。
- 今後、センターから利用者への方向での取組みだけでなく、利用者のセンター・ニュースへの参加の道をひろげてゆきたいと考えております。このための試みとして、特定のテーマについて「FORUM」欄を設けることでこの糸口をつけたいと思います。読者の積極的な参加を希望致します。
- 今まで刊行された「手引き」はつぎのとおりです。

種類	刊行時期
TSSにおけるNEACタイパー端末操作法	1970—2
ライブラリープログラム仕様書	1972—7
利 用 の て び き	1972—8
自動製図装置（ドラフター）利用の手引き	1972—9
N-700ジョブコントロールカードの手引き	1973—4

問8. 配布方法



同じ個人宛でも1と3とはその方法が異なりますが、両者で80%を占め、ほとんどが個人宛を希望されていることがわかります。

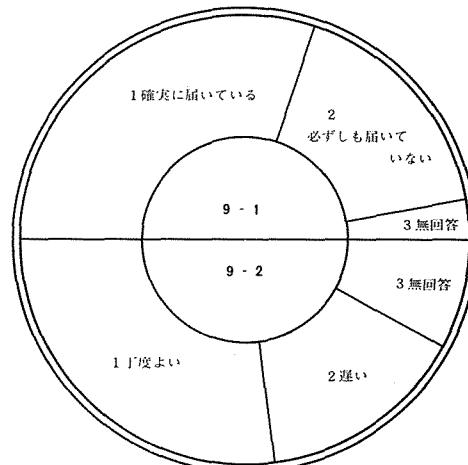
もっとも、すべてに何らかの方法で直接個人配布ができるべきですが、諸般の事情により現在学外利用者だけでごくんべん願っております。

—「配布の方法について(86ページ)」参照—

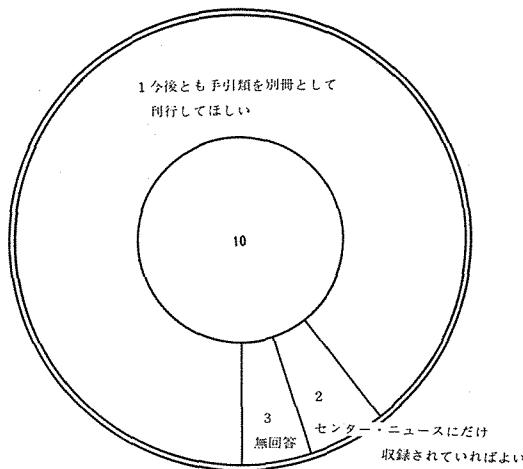
問9. 速報の配布 (1.届いているか, 2.届く時期)

上側のグラフの「必ずしも届いていない」、下側の「遅い」がいずれも30%前後、これでは速報の意味が全くないのでセンターとしてもこのようなことのないよう検討いたしております。

—「配布の方法について(86ページ)」参照—



問10. 別冊の刊行



回答者のほぼ9割が、手引き類を別冊として刊行してほしいとの希望を述べています。ハンディで使いやすいことが最大の理由であろうと考えられますが、半面、システム等が変更されたときなど、小さな修正が急に行なえないという欠点があります。現在教育広報専門委員会では「利用の手引き」だけでも、毎年改訂し、確実にユーザーの手許へ届けることを検討しております。

問11. 配布物全般

延べ43名の方々が、回答を記入されました。分類いたしますと、ほぼ次のようになります。

1. 配布の方法について	11件
2. 刊行物の保存について	13件
3. センター・ニュース等の内容について	8件
4. 遠隔地利用者について	2件
5. マニュアルの配布、内容について	4件
6. 計算センターの運営について	5件

この質問項目に対する回答でないものも見うけられますが、以上の各項につきまして、代表的な要望と、それに対するセンターとしての回答を掲載いたします。

1. 配布の方法について

- ・配布物到着のタイミングが遅すぎるくらいがある。とくに速報はもはや速報でなくなっている。
- ・配布はぜひ個人宛にして下さい。今まで連絡所経由のものは、ほとんど届かなかつたようです。
- ・大学院学生、研究生全員に行き届くようにして欲しい。

(回 答)

センター・ニュースならびに速報が「届いていない」「遅い」という苦情、お叱りはこれまでに聞いておりましたので、センターとしてもこれについていろいろ善処してきたつもりです。すなわち、本年3月からセンター学外便の巡回する大学の利用者には、当大学の連絡所を通

して個人宛に、その他の学外利用者等については個人宛に郵送しております。

一方学内利用者等への配布は、一括して各連絡所へ送っております。連絡所から同所保管の課題申請者名簿により必要部数が各教室へ送られております。

なお、利用者のかなり多い学内部局へは7月から学科毎にまとめ課題申請者ならびに配布希望者の名簿を帖付し送っております。しかし、今後は学内全部局にも学科別に名簿を帖付し、配布することにしておりますので今までのようなことはないと思います。

また、年度の末号に翌年度の刊行時期を載せるようにしますので、到着の確認もできるかと思います。

2. 刊行物の保存等について

- 1冊にファイルできるように、すべての配布物の大きさ、パンチ穴を画一にすること。
- 少なくとも1年間位、センターからのすべての配布物を保存して自由に誰でも見ることが出来るようなシステム、又は図書室のような部屋がセンター内にあればよいと思う。
- 手引き類のリストおよびニュースの索引をときどきニュースにのせる。又連絡所に常備してほしい。

(回 答)

刊行物の保存としてファイルしたいという要望がありますが、パンチ穴をあけるようにしますから個人用としては適当にファイルしていただきたい。

センター・ニュースは8号(1972-11)からは内部にパンチしてありますので、すぐにでもファイルできるようになっております。

誰もが自由に見たい、そこへ行けば必ずあるというように一定の場所に備えつけるものとして各連絡所でファイルできるよう準備しつつあります。

センター内では、計算結果の返却棚の前(1階)とデバック室(No.2)(2階)にマニュアル、手引類、センター・ニュース、速報を備えております。

なお、連絡所には、センター・ニュースおよび速報を掲示用として本年7月以降それぞれ一部づつ増配しております。

3. センター・ニュース等の内容について

- 多くの利用者の計算機利用法を紹介してほしい。
- 広く利用者が情報科学に関する一切の事に関して自由に発表できる論集的なものを刊行していったらどうだろうか。
- 高い立場からユーザーへの指導がなされているとは思えない。どちらかというと、執筆者(プログラムの解説等の)レベルが低いと思う。
- コンピューター入門や技術書の新刊紹介や推せん図書をのせて下さい。

(回 答)

問 7 を参照して下さい。

4. 遠隔地利用者について

- ・年度はじめの講習会の「おしらせ」は遅すぎるので申込めない。もっと早くするか、便宜をはかってほしい。
- ・出張者優先処理の詳細がよく分らないのでもっと詳しく知らせてほしい。

(回 答)

講習会の「おしらせ」は1月前ぐらいたるに届くようにしております。

学外遠隔地利用者のJ O B の取扱いについては下記のとおりです。

処理区分	対象となる利用者	対象となる連絡所名称	計算依頼の処理	処理の内容	受付時間	備考
優先処理扱い	利用者旅費および利用者旅費以外の費用でセンターへ計算機利用のため来られる人	全連絡所	優先処理される件数(1日) ○A JOB-3件以内 ○B JOB-1件以内 ただしBJOBについては翌日返却となることがある	JOB受付後システムに入力されるカードデックの先頭に入れ優先度(プライオリティ)を上げて処理される	JOB受付時間内に限る(時間外受付キャビネットに入れられたものは優先されない)	利用者入数を1日3名以内に制限する
遠隔処理扱い	上記以外でセンターへ計算機利用のため来られる人	第6地区の岡山県、香川県、徳島県、高知県、愛媛県、和歌山県、の全連絡所 第1~第4 第7地区的全連絡所 第5地区の富山县、石川県、福井県、滋賀県、鳥取県、島根県、の全連絡所および舞鶴工業高等専門学校連絡所	遠隔扱いされる件数(1日) ○A JOB-3件以内 ○B JOB-1件以内 ただし、BJOBについては翌日返却となることがある	JOB受付後システムに入力されるカードデックの先頭に入れて処理される	上記に同じ	取扱いは一般受付窓口にて行なうなお、身分証明書の提示を必要とする

(注) 本センターの旅費を利用しないで計算機利用のために出張する場合で、予め地区協から推せんされ、センター長の承認を得ている利用者をいいます。

5. マニュアルの配布、内容について

- ・プログラム指導員には、最低限必要なマニュアルで結構ですから送っていただけないでしょうか。
- ・N E C 発行のパンフレットは専門家向けのものであるせいか、記述がゆきとどいていない。FORTRAN文法等はセンターが使用者側にたって改訂すべきである。

(回 答)

プログラム指導員の方々へのマニュアルの配布は基本的には行なうことになりますが、いろんな種類がありますので無制限に送ることも出来ません。現在どのマニュアルを配布するか予算

的に検討しております。

手引き類についても配布いたしますが、現在のセンター利用の手引きは昨年発行したものであり、その後内容に変更もありますので、近々に改造されるシステムともあわせて新しいものを発行するよう計画いたしております。

6. 計算センターの運営について

- ・阪大のセンターで、ユーザーがカードを出して計算結果をうるのに時間がかかりすぎるのは何故でしょうか。
- ・機会を見てシステムの能力不足について一大キャンペーンをやってはどうか。
- ・どのような設備の拡張計画並にサービス向上計画をもっておられるのかを常に明らかにしてほしい。また利用者の希望はどのようなプロセスで上記の事項に反映され得るのか、その具体的な審議過程、決定方法をニュースで知らせてほしい。
- ・大型計算機センターの使用自体についてのアンケートを年1回位とて公表してほしい。
(ターンアラウンドの希望、職員の態度など)

(回 答)

ターンアラウンドタイムがかかり過ぎるとか、サービスの向上計画はどうなのか、センターの機能が充分發揮されていないなど、センターの管理運営についていろいろご叱責を受けましたが、これらはセンター・ニュースNo.10(1973-7)で“センターの現状”をあらゆる面から説明しておりますので省略させていただきます。是非一読されるよう望みます。

3. 集計データ

センター・ニュースに関するアンケート調査結果

問1. センター・ニュースをどのくらいお読みですか

1.ほとんど毎号読む	2.ときどき読む	3.ほとんど読まない	4.その他	無回答
83	98	26	12	3
37.34	44.14	11.71	5.41	1.35

問1-1 (上記3を答えたもの)

1.忙しいから	2.必ずしも毎号届かないから	3.内容がおもしろくないから	4.役に立たないから	5.その他	無回答
9	8	3	0	6	0
34.62	30.77	11.54	0	23.08	0

問2. 今までのセンター・ニュース記事のうち、興味深く、また役立った記事は何でしょうか、下記のリストから3つを順位をつけてご指定ください。

記事 順位	(1) 卷頭言 ・随想	(2) センター 紹介	(3) お知らせ	(4) センター だより	(5) 講習会 ・予定	(6) 業務 報告	(7) 他大学 大型 計算 センター だよ	(8) 運用会議 報告	(9) 利用者 の声	(10) センター の手引 ・利用
1 位	2	3	16	12	8	2	0	2	5	54
	0.90	1.35	7.21	5.41	3.60	0.90	0	0.90	2.25	24.32
2 位	4	2	17	11	10	3	0	1	4	26
	1.80	0.90	7.66	4.95	4.50	1.35	0	0.45	1.80	11.71
3 位	3	3	17	7	18	4	6	1	8	14
	1.35	1.35	7.66	3.15	8.11	1.80	2.70	0.45	3.60	6.31
合 計	9	8	50	30	36	9	6	4	17	94
	4.05	3.60	22.52	13.51	16.22	4.05	2.70	1.80	7.66	42.34

記事 順位	(21) FOR TRAN Sの ダ イ ア グ ノ ス テ イ ジ	(22) U F R メ シ セ ー ジ	(23) T S S	(24) ド ラ フ タ ー	(25) デ イ ス ク	(26) ワ ー ク フ ア イ ル	(27) NE A C タ イ パ ー	(28) 数 値 解 析	(29) そ の 他	(30) そ の 他	無回答
1 位	4	7	1	2	0	0	7	0	0	0	17
	1.80	3.15	0.45	0.90	0	0	3.15	0	0	0	7.66
2 位	11	4	8	4	2	0	13	1	1	0	20
	4.95	1.80	3.60	1.80	0.90	0	5.86	0.45	0.45	0	9.01
3 位	5	6	3	9	3	1	3	0	0	1	32
	2.25	2.70	1.35	4.05	1.35	0.45	1.35	0	0	0.45	14.41
合 計	20	17	12	15	5	1	23	1	1	1	69
	9.01	7.66	5.41	6.76	2.25	0.45	10.36	0.45	0.45	0.45	31.08

問3 今後、センター・ニュースにどのような企画をお望みになりますか。問2のリストから3つ順位をつけてご指定ください。リストに加えたいものがありましたら、「その他」の欄へ記入してください。

記事 順位	(1) 卷頭言 ・随想	(2) センター紹介	(3) お知らせ	(4) センターだより	(5) 講習会予定	(6) 業務報告	(7) 他機 大學 大型 計算 センタ ーだよ	(8) 運用会議 報告	(9) 利用者 の声	(10) センタ ー利用
1 位	3	1	10	4	4	0	1	1	2	19
	1.35	0.45	4.50	1.80	1.80	0	0.45	0.45	0.90	8.56
2 位	1	0	4	5	4	1	3	0	2	7
	0.45	0	1.80	2.25	1.80	0.45	1.35	0	0.90	3.15
3 位	1	3	5	5	10	1	2	1	3	10
	0.45	1.35	2.25	2.25	4.50	0.45	0.90	0.45	1.35	4.50
合 計	5	4	19	14	18	2	6	2	7	36
	2.25	1.80	8.56	6.31	8.11	0.90	2.70	0.90	3.15	16.22

記事 順位	(11) プロ グラ ム	(12) プロ グラ ム相 談	(13) シス テムの 現状	(14) 解 説	(15) A L G O L	(16) B P P L	(17) C O B O L	(18) B A S I C	(19) N F の E O R A C T R A N	(20) 科 学 計 算 用 ライ ブ ラ リ ー
1 位	23	7	10	21	1	3	1	0	1	32
	10.36	3.15	4.50	9.46	0.45	1.35	0.45	0	0.45	14.41
2 位	23	22	18	11	2	3	1	1	6	22
	10.36	9.91	8.11	4.95	0.90	1.35	0.45	0.45	2.70	9.91
3 位	15	11	14	10	0	1	1	5	6	29
	6.76	4.95	6.31	4.50	0	0.45	0.45	2.25	2.70	13.06
合 計	61	40	42	42	3	7	3	6	13	83
	27.48	18.02	18.92	18.92	1.35	3.15	1.35	2.70	5.86	37.39

記事 順位	(21) ダ グ ア ゲ メ セ ト R A N の ス テ イ ジ	(22) U E P メ ッ セ ー ジ	(23) T S S	(24) ド ラ フ タ ー 関 係	(25) デ イ ス ク ・ ワ ー ク	(26) F A I L E A C タ イ パ ー	(27) 数 値 解 析	(28) そ の 他	(29) そ の 他	(30) そ の 他	無 回答
1 位	4	3	6	8	4	1	26	1	0	0	25
	1.80	1.35	2.70	3.60	1.80	0.45	11.71	0.45	0	0	11.26
2 位	5	7	10	5	6	1	16	1	1	0	34
	2.25	3.15	4.50	2.25	2.70	0.45	7.21	0.45	0.45	0	15.32
3 位	4	2	6	5	3	0	25	0	1	2	41
	1.80	0.90	2.70	2.25	1.35	0	11.26	0	0.45	0.90	18.47
合 計	13	12	22	18	13	2	67	2	2	2	100
	5.86	5.41	9.91	8.11	5.86	0.96	30.18	0.90	0.90	0.90	45.05

問4. 今までのセンター・ニュースの記事内容の程度はどうでしょうか。

1. 適当である	2. やさしい	3. 難しい	4. その他	無回答
160	4	40	12	16
72.07	1.80	13.51	5.41	7.21

問5. センター・ニュースのページはどれ程がよいと思いますか。

1. 今まで程度	2.もっと厚い方がよい	3.もっと薄くてよい	無回答
158	34	12	18
71.17	15.32	5.41	8.11

問6. センター・ニュースの刊行回数はどれ程がよいと思いますか。

1. 隔月刊	2. 季刊	3. 不定期刊	4. その他	無回答
140	42	19	13	8
63.06	18.92	8.56	5.86	3.60

問7. (略)

問8. センター・ニュース配布方法についてご意見をお示しください。

1. 直接個人宛配布	2. 連絡所経由による一括配布	3. 連絡所経由個人宛配布	4. その他	無回答
106	31	72	0	13
47.75	13.96	32.43	0	5.86

問9. 速報の配布についてご意見をお示し下さい。

問9-1 (配布)

1. 確実に届いている	2. 必ずしも届いていない	無回答
144	65	13
64.86	29.28	5.86

問9-2 (配布のタイミング)

1. 丁度よい	2. 遅い	無回答
120	68	34
54.04	30.63	15.32

問10. 今まで手引類(センター利用の手引, サブルーチン, ドラフター利用の手引)別冊で,

刊行し, 部分的にセンター・ニュースに再収録してきましたが, このような典型的な手引類の刊行についてのご希望をお書きください。

1. 今後とも手引類を別冊として 刊行してほしい	2. センター・ニュースだけ収録 されておればよい	無回答
199	12	11
89.64	5.41	4.95

問11. (略)

アンケート

センター・ニュースに関するアンケート調査についてお願ひ

昭和48年6月7日

このたび、大阪大学大型計算機センター教育広報専門委員会（委員長 森本信男）は、センター・ニュース編集の参考とするため、センター利用者の声を募ることになりました。お忙しいところまことに恐れ入りますが、下記の質問につき、ご意見をお寄せくださるようお願ひいたします。

実施方法

1. 質問事項から回答しようとする番号を別紙回答用紙の該当欄に記入してください。
2. とくに指定しないかぎり各質問には1つだけお答えください。「その他」を指定されたときはその内容を記入してください。
3. 記入済のアンケート回答用紙は無記名のまま添付の封筒にてご返送ください。
4. 返送期限は、集計との関係上6月末日までにお願いします。
5. 集計の結果は、次回のセンター・ニュースに掲載させていただく予定です。

センター・ニュースに関するアンケート調査票

昭和48年6月7日

問1. センター・ニュースをどのくらいお読みですか。

1. ほとんど毎号読む 2. ときどき読む 3. ほとんど読まない 4. その他

問1-1 (問1で3を指定された方だけお答えください)

お読みにならない理由をお知らせください。

1. 忙しいから 2. 必ずしも毎号届かないから 3. 内容がおもしろくないから
4. 役に立たないから 5. その他

問2. 今までのセンター・ニュース記事のうち、興味深く、また役に立った記事は何でしょうか。

下記のリストから3つを順位をつけてご指定ください。

1. 卷頭言、随想、あいさつ 2. センター紹介 3. お知らせ 4. センターだよ
り 5. 講習会予定 6. 業務報告 7. 他大学大型計算機センターだより
8. 運用会議報告 9. 利用者の声 10. センター利用の手引き 11. プログラムノ
ート 12. プログラム相談 13. システムの現状 14. 解説 15. ALGOL
16. BPL 17. COBOL 18. BASIC 19. NEAC-FORTRANの比較
20. 科学計算用ライブラリー 21. FORTRANのダイアグノスティック・メッセージ
22. UEPメッセージ 23. TSS 24. ドラフター関係 25. ディスク・ワーク・
ファイル 26. NEACタイマー 27. 数値解析 28. その他 29. その他
30. その他

問3. 今後、センター・ニュースにどのような企画をお望みになりますか。問2のリストから3つを順位をつけてご指定ください。リストに加えたいものがありましたら、「その他」の欄へ記入してください。

問4. 今までのセンター・ニュースの記事内容の程度はどうでしょうか。

1. 適当である 2. やさしい 3. 難しい 4. その他

問5. センター・ニュースのページ数はどれ程がよいと思いますか。

1. 今まで程度 2. もっと厚い方がよい。 3. もっと薄くてよい

問6. センター・ニュースの刊行回数はどれ程がよいと思いますか。

1. 隔月刊 2. 季刊 3. 不定期刊 4. その他

問7. 編集についてのご意見（編集内容一般、記述方法、別冊刊行、センター・ニュースのサイズ、活字、図表、その他）をご自由にできるだけ簡潔にお書きください。

問8. センター・ニュース配布方法についてご意見をお示しください。

1. 直接個人宛配布 2. 連絡所経由による一括配布 3. 連絡所経由による個人宛配布 4. その他

問9. 速報の配布について、ご意見をお示しください。

問9-1（配布） 1. 確実に届いている 2. 必ずしもとどいていない

問9-2（配布のタイミング） 1. 丁度よい 2. 遅い

問10. 今までの手引き類（センター利用の手引、サブルーチン、ドラフト利用の手引き）を別冊で刊行し、部分的にセンター・ニュースに再収録してきましたが、このような典型的な手引き類の刊行についてのご希望をお書きください。

1. 今後とも、手引き類を別冊としてほしい。
2. センター・ニュースにだけ収録されておればよい。

問11. センターからの配布物全般について、このアンケートでお伺いしなかった事項がありましたら、ご希望を簡単にお書きください。

ご協力どうもありがとうございました。